

前回予選プール敗退／世界ランキング21位

NAMIBIA

ナミビア

TEXT◎ANDREW POOLMAN [Journalist]



2022年11月のカナダ戦(オランダで開催。43-37)で突破を図るベテランCTBルルー・マラン

この4年間の歩み

迫るフランス大会に向かう準備は、過去のW杯に向けた準備と比較するとスムーズだ。

2015年、2019年と、ナミビアのHCとして初めてW杯2大会で指揮を執ったフィル・デーヴィスがチームに残したものは大きかった。デーヴィス旧体制下でデビューを果たした選手がチームの核となり、中には3度目のW杯に臨む選手もいる。アリストター・クツツエー体制のハイルイトの一つは間違いなく、2022年11月、アムステルダムでのカナダ戦だ。43-37のスコアで制し、北米勢相手の史上初勝利を飾った。苦難の道だった。新型コロナウイルスの蔓延により、W杯への準備に

は妥協を強いられてきた。

W杯出場権を懸けた予選は2021年7月にスタート。新任のクツツエーHCが招集できる選手の層には大きな制限がなかった。

コートジボワールとの初戦は13-24でまさかの黒星。アフリカ勢(南アフリカを除く)相手の敗戦は7年ぶりという事態を受けて結束を強めたチームは、続くマダガスカル戦を52-10で制し、2022年7月の予選最終ステージに駒を進めた。

海外組がチームに合流した最終予選ではブルキナファソに71-5、ジンバブエに34-19、ケニアに36-0で快勝、アフリカ予選を突破し、7大会連続のW杯出場を決めた。

この予選と前後して強化の糧となったのは、2023年前半、南ア・カリーカップ・ファーストディビジョン(現ナンシ・チャレンジ)への参戦だ。ナミビアは国内組で編成したウェルウィッチアスとして、9試合の貴重な経験を積んだ。南アのイースタンプロビンスなどに勝利を収め、3敗したものの接戦に持ち込んだ。国内を拠点にプレーする選手のコम्ビネーション向上という点で強化に大きく貢献した。

2023年7月には、ワールドラグビーネーションズカップに臨んだ。初戦の相手、アルゼンチンXVには怒涛の追い上げも勝利には届かず、高い期待とともに臨んだ続くウルグアイ戦は18-26で敗戦。チリ戦を28-26のスコアでなんとか勝利した。チリ戦では、キャップ2つ目のS Oティアン・スワネプールの、コンバージョンを4本成功させ、F Bデバン・ロツソウのインターセプトからのトライは7-26と苦しんでいた

チームに火をつけた。

大逆転を決めたナミビアが、W杯出場を決めている両国間の史上初のテストマッチを勝利で飾った。

登録メンバーCHECK

クツツエーHCが授ける知見をワールドで活かすのはやはり、経験豊富な選手たちだ。PRのキャスパー・ヴィヴィエ、CTBヨハン・デイズル、JC・グレイリングらが、チームを精神面でも支える。

MLR(采国リーグ)に所属する選手たちがそこへ力を束ねる。FLウィアン・コンラデー、SHダミアン・ステイヴンス、SOクライヴエン・ルーパード。

ただ、FWタイト5のレベルが勝敗を左右すると言っても過言ではない現代ラグビーにおいて、ナミビアは不安を残したままのW杯入りとなる。

不安定なセットピースを何とか繋ぎ止めているのはベテランPRアラノス・クツツエー。一身に重責を担う「柱」が怪我などの場合にどうカバーするかは大きな課題だ。

そして、FW第3列では、ヤンコ・フェンター(南ア出身/サラセンス、グリクアスなどでプレー経験あり)が膝の負傷で離脱を余儀なくされた。

FWのリーダーシップの醸成が、今大会の浮沈を握るポイントとなる。

SHダミアン・ステイヴンスは素早く正確なパスでアタックの起点となる。ブルズでも活躍したF Bデイヴァン・ロツソウも、代表加入以降、後方からの的確な状況判断でアタックに厚みを加えている。

ティア2に属するナミビアは、残念ながら通例となっている「ティア1との対戦回数10」のまま前回大会からの間の期間を過ごした。

海外のトップクラブに所属する選手は増加しているものの、W杯という世界最高峰のレベルで戦うためには、代表チームとしての高いレベルへの慣れが求められる。

プールマッチ展望

W杯での連敗記録更新という不名誉から逃れるためにも、プール最終戦のウルグアイ戦では何としても勝利を収めたい。直近の対戦を生かして戦う。

イタリヤとウルグアイに勝利を収め、プール3位につけ、2027年大会の出場権を獲得することが理想的な結果と言える。

W杯での勝利には、どんな相手であっても、想像を絶する努力、細部にわたるプランニングが求められる。

FACT FILE

協会創立▶1990年
エンブレム▶鷲
チームネーム▶Welwitschias
ヴェルウィッチャース
登録選手数▶5,975人
首都▶ウィントフック
面積▶82.4万km²
人口▶257万人
おもな言語▶英語、アフリカーンス
国歌▶Namibia, Land of the Brave

ウェブサイト▶nru.com.na

Facebook▶/NamibiaRugby/
Twitter▶@namibia_rugby
Instagram▶@officialnamibiarugby

RWC RESULTS

1987 (第1回)	出場せず
1991 (第2回)	出場せず
1995 (第3回)	出場せず
1999 (第4回)	予選プール敗退
2003 (第5回)	予選プール敗退
2007 (第6回)	予選プール敗退
2011 (第7回)	予選プール敗退
2015 (第8回)	予選プール敗退
2019 (第9回)	予選プール敗退

PICK UP PLAYERS

HO トルステン・ファンヤースフェルト

フリーステート・チーターズでの経験もあるパイオニア所属のベテランは、近年のナミビア代表において一貫して高いパフォーマンスを見せる数少ない選手の1人だ。正確なプレーと高いワークレートを強みとし、密集に近い局面でチームをオーガナイズする。アルゼンチン XV 戦ではモールから3トライを記録し好調をアピールしたが、同南米ツアー中に負った上腕二頭筋への重度の打撲が心配される。

CTB ルルー・マラン

2022年11月にナミビア代表デビューを果たしたマランだが、大腿部の不調により2023年7月の南米遠征メンバーからは外れていた。直近の出場なきままW杯メンバーに選出されたマランは、MLRのニューイングランド・フリージャックスでも見せたゲインラインを超えるパワフルなラン、オフロード、視野の広さで、W杯でも輝きを放つだろう。FBティアン・スワネプール(元ライオンズ)、WTBディバン・ロソウ(元ライオンズ、ブルズ)と共にW杯デビューを果たすと見られる期待の選手だ。

CTB ヨハン・ディゼル

コロミエ所属のCTBは激しいディフェンスとボールキャリアーで、チーム内でもリーダーと目される存在。フランスの各クラブでプレーするチームメイト(PJ・ファン・リル、チェイ・ウアニヴィ、トルステン・ファンヤールスフェルト、キャスパー・ヴィヴィエル、アドリアーン・ルディック)とともに、ディゼルの落ち着きはフィールド内外でチームに大きな影響を及ぼす。

so クライヴェン・ルーバー

ナミビア代表最多得点記録を持つテュニス・コッツェの控えとして2017年に代表デビューを果たしたルーバーは、2019年W杯にも出場した。MLRユタ・ウォーリアーズでの3年間で大きく成長し、今大会はチームの絶対的司令塔としての活躍が期待される。

FL/N08 ウィアン・コンラディ

元ワラビーズで現在はメルボルン・レベラズでプレーするリチャード・ハードウィックが出生地のナミビア代表に転向。彼が2023年のスーパーラグビーで見せたプレーをW杯でも見せてくれるかと期待する人は多い。しかし、ナミビアのFW第3列を引っ張るのは依然としてこの人、ウィアン・コンラディだ。コンラディは今年のMLRで圧倒的な活躍を見せ、優勝を果たしたニューイングランド・フリージャックスのチーム年間最優秀選手にも輝いた。スタッツにおいても、リーグで唯一タックル数とボールキャリアー数の両方でTOP10入りを果たした選手となった。



信頼を集めるコンラディ

SO/FB
アンドレ・ファンデルバーグ
 André van der Berg
 ワンダラーズ
 1998.1.23生 / 25歳
 シュタットローン(GER)出身
 180cm/92kg 3 caps
 Debut: 2022.11.12 vs ESP

CTB
JC・グレイリング
 JC Greyling
 ワンダラーズ
 1991.6.21生 / 32歳
 オカハンジャ出身
 187cm/92kg 42 caps
 Debut: 2014.10.29 vs GER **2015** **2019**

CTB **CAPTAIN**
ヨハン・ディゼル
 Johan Deyssel
 コロミエ(FRA)
 1991.9.26生 / 31歳
 ウィントフック出身
 184cm/94kg 35 caps
 Debut: 2013.11.16 vs KEN **2015** **2019**

CTB
ダンコ・バーガー
 Danco Burger
 ワンダラーズ
 1998.7.28生 / 25歳
 181cm/101kg
 5 caps
 Debut: 2023.7.29 vs ARG XV

CTB
ゲースウィン・ムートン
 Gerswin Mouton
 ウィツ大学RC(SA)
 1999.12.16生 / 23歳
 170cm/80kg
 3 caps
 Debut: 2023.7.29 vs ARG XV

CTB
ルルー・マラン
 Le Roux Malan
 ニューイングランドフリージャックス(USA)
 1999.3.31生 / 24歳
 ウィントフック出身
 191cm/96kg 2 caps
 Debut: 2022 vs ESP

WTB
ディバン・ロソウ
 Divan Rossouw
 ライオンズ(SA)
 1996.3.12生 / 27歳
 ウィントフック出身
 187cm/94kg 6 caps
 Debut: 2022.11.12 vs ESP

WTB
アルシノ・アイザックス
 Alcino Isaacs
 ナミビア大学RC
 1993.11.16生 / 29歳
 ウィントフック出身
 189cm/90kg

FB
ティアン・スワネプール
 Tiaan Swanepoel
 ライオンズ(SA)
 1996.6.4生 / 27歳
 ウィントフック出身
 180cm/91kg 2 caps
 Debut: 2023.7.29 vs ARG XV

WTB
チャド・プラト
 Chad Plato
 クドウス
 1998.4.21生 / 25歳
 スワフムント出身
 185cm/87kg 5 caps
 Debut: 2018.11.17 vs ESP **2019**

HEAD COACH アリスター・コッツェー

Allister Coetzee
 1963年5月23日生まれ、60歳。
 2007年に南ア代表のコーチとしてW杯優勝に貢献。その後はウェスタン・プロヴィンズとストーマーズのHCを兼任し、'15年に神戸製鋼、'16-'18年には南ア代表のHCを務めた。'19年に再来日してキャノンズを2年、'21年からロヴィンゴ(イタリア)を1年指揮し、同年6月から現職。

ASSISTANTS
 Pine Pienaar (Defence)
 Barend Pieterse (Forwards)
 Matt Proudfoot (Scrum)

LO
アドリアーン・ルディック
 Adriaan Ludick
 リモージュ(FRA)
 1998.7.22生 / 25歳
 ウィントフック出身
 198cm/124kg 8 caps
 Debut: 2018.11.10 vs RUS

LO
ティアン・デクラーク
 Tiaan de Klerk
 モリアーノ(ITA)
 2001.6.12生 / 22歳
 ナミビア出身
 1 cap
 Debut: 2023.7.29 vs ARG XV

FL/N08
ウィアン・コンラディ
 Wian Conradie
 ニューイングランドフリージャックス(USA)
 1994.10.14生 / 28歳
 ウィントフック出身
 185cm/105kg 28 caps
 Debut: 2015.8.8 vs KEN **2015** **2019**

FL/N08
アドリアーン・ブイセン
 Adriaan Booysen
 ダラス・ジャックス(USA)
 1996.5.17生 / 27歳
 コバリス出身
 184cm/112kg 24 caps
 Debut: 2017.7.8 vs SEN **2019**

FL/N08
マックス・カッティエコ
 Max Katijieko
 テラピビヒート(ISR)
 1995.4.8生 / 28歳
 ウィントフック出身
 196cm/100kg 21 caps
 Debut: 2017.7.1 vs TUN **2019**

FL/N08
ヨハン・レティーフ
 Johan Retief
 グリクアス(SA)
 1995.10.10生 / 27歳
 ウィントフック出身
 190cm/110kg 20 caps
 Debut: 2017.6.10 vs ESP **2019**

FL/N08
プリンス・ガオセブ
 Prince Gaoseb
 テラピビヒート(ISR)
 1998.7.7生 / 25歳
 オマルル出身
 186cm/100kg 11 caps
 Debut: 2018.11.10 vs RUS **2019**

FL/N08
リチャード・ハードウィック
 Richard Hardwick
 レベルズ(AUS)
 1994.5.31生 / 29歳
 ウィントフック出身 183cm/
 103kg 3 caps/2 caps(AUS)
 Debut: 2022.11.19 vs CAN

SH
ダミアン・ステューヴンス
 Damian Stevens
 ニューオーリンズ・ゴールド(USA)
 1995.6.2生 / 28歳
 ウォルビスベイ出身
 175cm/82kg 36 caps
 Debut: 2015.8.8 vs KEN **2015** **2019**

SH
ジャック・セロン
 Jacques Theron
 ワンダラーズ
 1999.3.22生 / 24歳
 170cm/75kg
 1 cap
 Debut: 2023.8.5 vs URU

SH
オセラ・ブラウ
 Oela Blaauw
 ヨハネスブルグ大学RC(SA)
 174cm/80kg

SO
クライヴェン・ルーバー
 Cliven Loubser
 ユタ・ウォーリアーズ(USA)
 1997.2.24生 / 26歳
 リホーボス出身
 176cm/85kg 15 caps
 Debut: 2017.6.18 vs RUS **2019**



PR
キャスパー・ヴィヴィエル
 Casper Viviers
 ラポール(FRA)
 1988.6.1生 / 35歳
 ウィントフック出身
 185cm/112kg 41 caps
 Debut: 2010.11.27 vs ESP **2015**

PR
アラノス・クッツェー
 Aranos Coetzee
 チーターズ(SA)
 1988.3.14生 / 35歳
 ウィントフック出身
 186cm/122kg 29 caps
 Debut: 2015.6.6 vs TUN **2019**

PR
デジデリウス・セティエ
 Desiderius Sethie
 ナミビア大学RC
 1992.12.9生 / 30歳
 ウォルビスベイ出身
 177cm/110kg 17 caps
 Debut: 2017.7.1 vs TUN **2019**

PR
ジェイソン・ベナデ
 Jason Benade
 ナミビア大学RC
 1995.4.16生 / 28歳
 リホーボス出身
 188cm/115kg 12 caps
 Debut: 2018.11.17 vs ESP

PR
ハイテンブ・シフカ
 Haitembu Shifuka
 1998.5.15生 / 25歳
 180cm/117kg
 1 cap
 Debut: 2023.8.5 vs URU

HO
ルイ・ファンデルヴェストハイゼン
 Louis van der Westhuizen
 チーターズ(SA)
 1995.2.25生 / 28歳
 ウィントフック出身
 180cm/102kg 29 caps
 Debut: 2013.11.8 vs ZIM **2015** **2019**

HO **VICE CAPTAIN**
トルステン・ファンヤースフェルト
 Torsten van Jaarsveld
 パイオニス(FRA)
 1987.6.30生 / 36歳
 ウィントフック出身
 175cm/106kg 19 caps
 Debut: 2014.10.29 vs GER **2015** **2019**

HO
オバート・ノルキヤ
 Obert Nortje
 ナミビア大学RC
 1997.4.17生 / 26歳
 ウィントフック出身
 179cm/102kg 17 caps
 Debut: 2017.7.8 vs SEN **2019**

LO
PJ・ファンリル
 PJ van Lill
 カップルトン・オセゴール(FRA)
 1983.12.4生 / 39歳
 ケートマンスフープ出身
 193cm/120kg 59 caps
 Debut: 2006.7.1 vs TUN **2015** **2019**

LO
チエイ・ウアニヴィ
 Tjiuee Uanivi
 モントーバン(FRA)
 1990.12.31生 / 32歳
 オチワロンゴ出身
 201cm/110kg 34 caps
 Debut: 2014.10.29 vs GER **2015** **2019**

LO
マヘピサ・チエリコ
 Mahepisa Tjeriko
 ナミビア大学RC
 1993.5.6生 / 30歳
 ウィントフック出身
 195cm/105kg 11 caps
 Debut: 2017.6.10 vs ESP

キリトリ